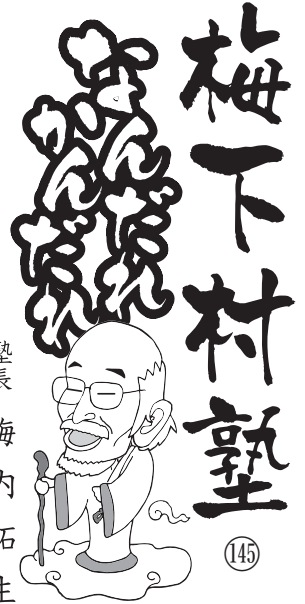


# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

（コウモリ外交とマスコミ）  
 ウクライナをつかみ取ろうしているロシアと欧米諸国をめぐる外交戦争は宣伝外交とコウモリ外交が入り乱れて、これにマスコミ報道が組み込まれて複雑な様相を呈している。日本が順守している国際法の力は大国の都合で歪められているが、安全保障常任理事国はその影響力を手のうちに握っておきたいと行動している。慰安婦問題、竹島問題を絡めて韓国は告げ口外交を展開しているが、これに、日本のマスコミが、さらには米国のマスコミが附和雷同していることは嘆かわしい

ことである。この状況を見て、東海新報読者からメッセージが届いた。「2011報道されない」ロシアのこのころ、東日本大震災の影響により、4月の日本開催から、急遽ロシア・モスクワでの開催となった「世界フィギュアスケート選手権2011」。この大会の、開会式での、白いリンクに大きな日の丸が映し出され、参加国の民族衣装を着たスケーターが連帯を示して黙とうした映像がカットされていったということである。  
 尖閣諸島問題やPM2.5環境問題への中国の帝国主義的宣伝外

交に対しても、（コウモリ外交とマスコミ）は表裏一体である。（梅下村塾とにしたま文華塾）  
 3・11東日本大震災には西多摩地方からの応援も受けている。スジャーティブプロジェクト仏教グループによる被災地での心のケアはにしたま文華塾グループの西多摩新聞と関係が深い。

### 西多摩新聞の俳句

ぬかご わかぎり句会 新年句会  
 （思いやりと労り）  
 和やかに手話の挨拶初参り

佐藤千代恵

初晴れやつくみ来てゐる夫の墓  
 松山千恵子

筆跡に快方見ゆる賀状受く  
 川述真子

思いやりと労りの気持ち  
 持ちが詠まれております。

瑞穂俳句会1月例会（雑煮）  
 入選句今に掲げて雑煮膳  
 齊藤洋美

切り餅の角の取れたる雑煮椀  
 田中安枝

年毎に小さくなりし雑煮餅  
 吉岡君枝

お雑煮の話いつしか故郷自慢  
 伊藤久子

幾つ喰う雑煮の度に掛る声  
 川口尊

雑煮椀今は二つで事足れり  
 吉岡トリア

お正月のいろいろな雑煮文化が浮かんできます。  
 山田三郎

東青梅城山句会 1月例会  
 （追憶 隠れている命）

茶畑を仮寝の猫や冬日ざし  
 高橋久子

生きものをかばひ隠して冬の池  
 高山重葉

追憶に浸りておれば日脚伸び  
 曾我登美子

日差しがのび始める  
 と命がよみがえります。  
 羽村市俳句会 初句会  
 （気合と活）

包丁の寝刃ものを合わす初仕事  
 水上陽三

高らかに面打つ声や初稽古  
 坂井徳三郎

先覚の賀状うれしく活を受く  
 山田三郎

新年は心機一転気合いと活を入れる時です。  
 明治の初めに民衆憲法草案を上程した西多

摩地方には武道、文芸、民衆の自律と自治の伝統が息づいており  
 ます。

にしたま文華塾は以下の「ことばつなぎ」を設定しております。  
 古池や蛙飛び込む水のおと  
 芭蕉

誰が風を見たでしょう  
 僕もあなたも見やしない  
 クリステイナ・ロセ  
 ツティ

技能の森求めて深しき  
 らに奥  
 拓生

これら三つの「ことば」から新しい世界を創造して感動を分かち合いませんか。この活動は過去、現在、未来をつなぐ飛躍（とぎ）エネルギーを生み出します。

梅内 拓生